

NY マーケットレポート (2016年11月3日)

NY 市場では、序盤に発表された米新規失業保険申請件数、ISM 非製造業景況指数が市場予想より悪化したが、アジアや欧州市場で大きく動きが出た反動もあり、指標結果を受けた反応は限定的となった。その後は、米大統領選を巡る先行き警戒感から円買い・ドル売りとなり、ドル/円は軟調な動きが続いた。また、原油や株価が下落したことから、クロス円も上値の重い動きとなった。そして、「英国のEU 離脱は、正式通知前に英下院の承認が必要となる」とのロンドン高等法院の判決を受けて、英中銀は年内の利下げをしないとの見方が広がり、ポンドは主要 16 通貨に対して全面高となった。ポンドは、NY タイム序盤まで堅調な動きが続いたものの、その後は小動きの展開が続いた。

2016年11月3日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	102.67	103.46	102.56
EUR/JPY	114.15	114.77	114.02
GBP/JPY	126.79	127.38	126.52
AUD/JPY	78.79	79.31	78.49
EUR/USD	1.1121	1.1126	1.1091

LONDON	高値	安値
USD/JPY	103.28	102.61
EUR/JPY	114.42	114.07
GBP/JPY	128.52	126.69
AUD/JPY	79.20	78.70
EUR/USD	1.1122	1.1066

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	102.90	103.33	102.89
EUR/JPY	114.27	114.52	114.10
GBP/JPY	128.22	128.92	128.02
AUD/JPY	79.06	79.32	79.02
NZD/JPY	75.50	75.63	75.32
EUR/USD	1.1106	1.1121	1.1060
AUD/USD	0.7683	0.7688	0.7660

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17930.67	-28.97
S&P500	2088.66	-9.28
NASDAQ	5058.41	-47.16
日経225 (CME)	16970	-45
トロント総合	14583.42	-11.30
ボルサ指数	46683.80	-619.51
ボベスパ指数	61750.17	-1576.25

11/4 経済指標スケジュール

08:30	【日本】10月体内外証券投資
09:30	【オーストラリア】11月豪中銀 四半期金融政策報告
09:30	【オーストラリア】9月小売売上高
17:50	～ 18:00
	【フランス】【ドイツ】【欧州】10月非製造業PMI
19:00	【欧州】9月生産者物価指数
21:30	【米国】10月失業率
21:30	【米国】10月非農業部門雇用者数
21:30	【米国】9月貿易収支
21:30	【カナダ】10月失業率
21:30	【カナダ】10月雇用ネット変化率
21:30	【カナダ】9月国際商品貿易
23:00	【カナダ】10月Ivey購買部協会指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1303.30	-4.90
NY 原油	44.66	-0.68
CME コーン	348.00	+1.75
CBOT 大豆	989.50	+3.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.806%	0.817%
3年債	0.960%	0.965%
5年債	1.261%	1.258%
7年債	1.578%	1.573%
10年債	1.810%	1.794%
30年債	2.600%	2.557%

ドイツ10年債	0.158%	0.131%
英国10年債	1.201%	1.170%

11/4 主要会議・講演・その他予定

- ・フィッシャーFRB副総裁 講演
- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・米夏時間終了 (6日)

NY 市場レポート

21 : 00

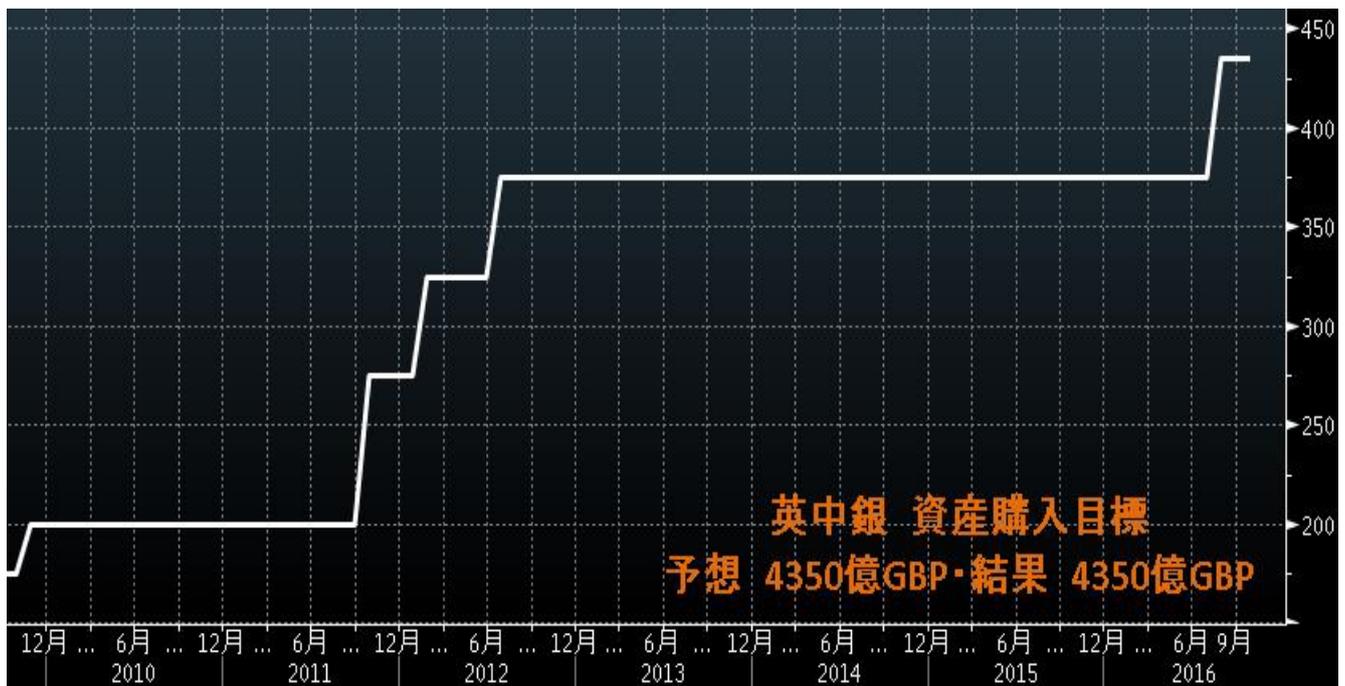
◀ 経済指標の結果 ▶

英中銀 政策金利発表 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

英中銀 資産購入目標 4350 億 GBP (予想 4350 億 GBP・前回 4350 億 GBP)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

21 : 05
英中銀声明

- ・「政策金利を 0.25%に据え置き」
- ・「9 対 0 で政策金利を据え置き決定、資産買い入れ規模も維持」
- ・「目標上回るインフレについては、許容に限りがある」
- ・「金融政策は、いずれの方向にも対応可能」
- ・「来年 4-6 月にインフレは 2%の目標を突破する見込み」



出所 : Net Dania

21 : 30
◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 26.5 万件 (予想 25.6 万件・前回 25.8 万件)

米失業保険継続受給者数 202.6 万人 (予想 204.3 万人・前回 204.0 万人)
前回発表の 203.9 万人から 204.0 万人に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

日付	申請件数	前週比	4週移動平均	受給者数	受給者比率
16/10/29	265,000	+7,000	257,750	*****	*****
16/10/22	258,000	-3,000	253,000	2,026,000	1.5%
16/10/15	261,000	+14,000	252,000	2,039,000	1.5%
16/10/08	247,000	+1,000	249,500	2,054,000	1.5%
16/10/01	246,000	-8,000	252,750	2,050,000	1.5%
16/09/24	254,000	+3,000	256,000	2,062,000	1.5%
16/09/17	251,000	-9,000	258,250	2,064,000	1.5%
16/09/10	260,000	+1,000	260,750	2,108,000	1.5%
16/09/03	259,000	-4,000	261,250	2,149,000	1.6%
16/08/27	263,000	+2,000	263,000	2,142,000	1.6%
16/08/20	261,000	-1,000	264,000	2,157,000	1.6%
16/08/13	262,000	-4,000	265,250	2,145,000	1.6%
16/08/06	266,000	-1,000	262,750	2,175,000	1.6%

受給者数は集計が1週間遅れる

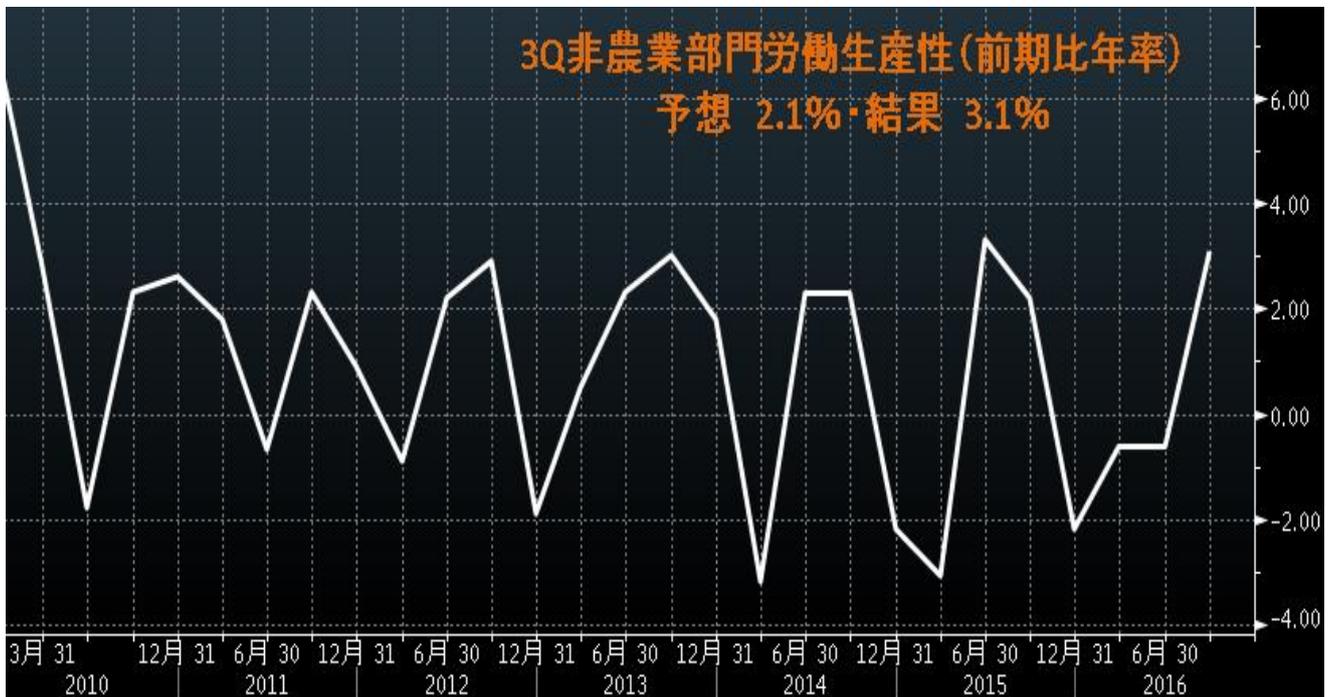
米失業保険申請件数は、前週比+0.7万件の26.5万件となり、2週ぶりに増加した。ただ、節目となる30万件は87週連続で下回っている。申請件数の4週移動平均は、前週比+4750件の25万7750件だった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-1.4万人の202.6万人と2週連続で減少となり、2000年6月10日までの週以来の低水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-0.9万人の204万2500人。受給者比率は、前週比横ばいの1.5%だった。

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3Q非農業部門労働生産性(前期比年率) 3.1% (予想 2.1%・前回 -0.2%)

前回発表の-0.6%から-0.2%に修正



出所 : Bloomberg

経済指標データ

＜非農業部門労働生産性指数＞

	7-9	4-6	1-3	10-12	7-9
非農業部門労働生産性指数	3.1	-0.6	-0.6	-2.4	2.0
生産	3.4	1.1	0.7	0.8	1.8
労働総投入量	0.3	1.7	1.4	3.3	-0.2
時間あたり給与	3.4	3.7	-0.9	3.1	2.9
実質給与	1.7	1.2	-0.6	2.3	1.5
単位あたり労働コスト	0.3	3.9	-0.3	5.7	0.8
単位あたり非労働コスト	2.5	0.2	2.1	-6.2	1.1
価格指数	1.2	2.3	0.7	0.5	1.0

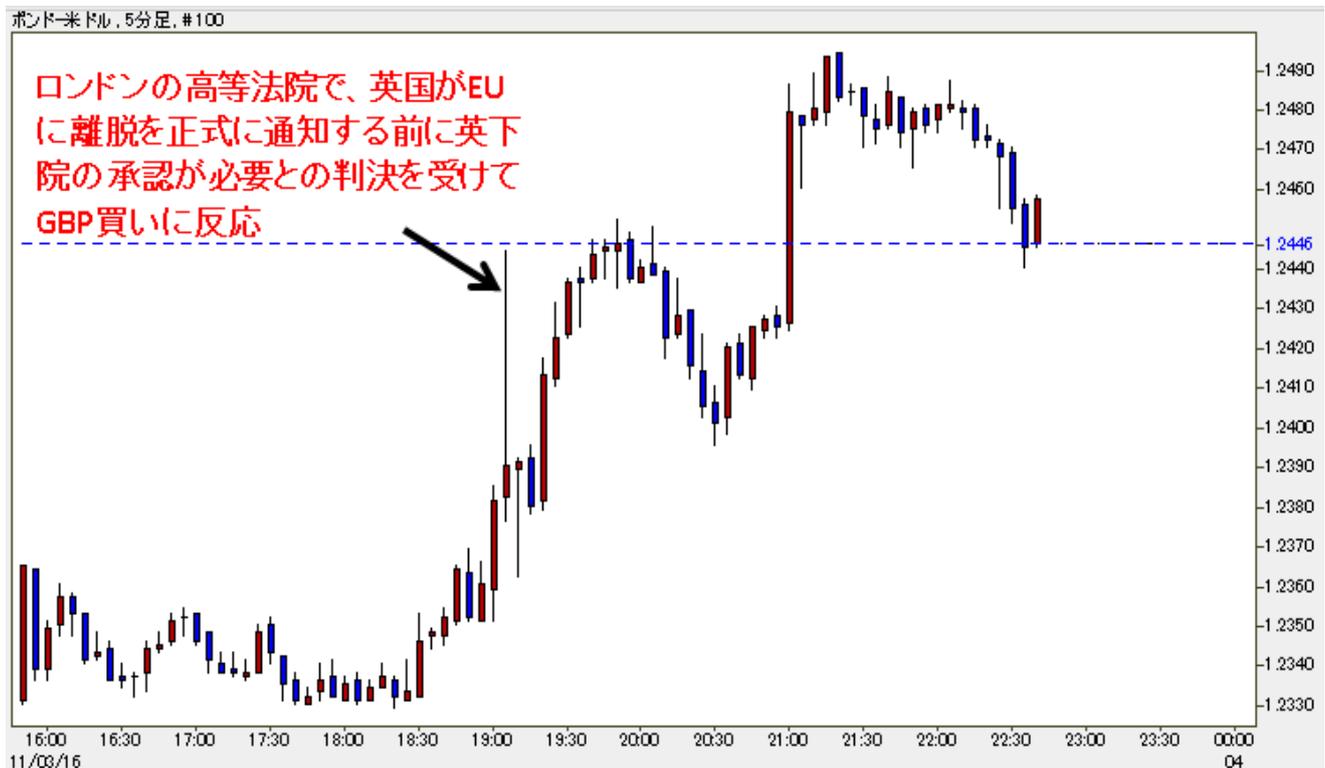
(前期比、年率%)

7-9 月期の米非農業部門の労働生産性の速報値は、年率換算で前期比+3.1%と 4 四半期ぶりに上昇となり、2014 年 7-9 月期以来の伸びとなった。生産の増加が労働時間の伸びを大幅に上回ったことが、生産性の上昇に寄与した。

- ①賃金の指標である単位労働コストは、前期比+0.3%となり、2 四半期連続で上昇した。前年同期比では+2.3%となった。
- ②労働生産性は、前期比で生産が+3.4%、前年同期比では+1.6%。労働時間が+0.3%、前年同期比では+1.7%。
- ③製造業の生産性は、前期比+1.0%、前年同期比では+0.2%。生産が+1.1%、前年同期比では横ばい。労働時間は+0.1%、前年同期比では-0.1%となった。
- ④時間当たりの労働報酬は名目ベースで前期比+3.4%、前年同期比では+2.3%。物価動向を考慮した実質ベースでは+1.7%、前年同期比では+1.1%だった。

＜海外の話題＞

ロンドンの高等法院は、英国が EU 離脱手続きを正式に開始するためには議会の承認が必要になるとの判決を下した。これに対し政府は上訴するとしており、メイ首相は報道官を通して来年 3 月末までに離脱交渉を開始するとの計画を堅持すると述べた。



23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10月米ISM非製造業景況指数 54.8 (予想 56.0・前回 57.1)



出所：Bloomberg

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
総合指数	54.8	57.1	51.4	55.5	56.5	52.9
景況指数	57.7	60.3	51.8	59.3	59.5	55.1
仕入価格	56.6	54.0	51.8	51.9	55.5	55.6
新規受注	57.7	60.0	51.4	60.3	59.9	54.2
雇用者数	53.1	57.2	50.7	51.4	52.7	49.7

10月の米ISM非製造業景況指数は、市場予想の56.0を下回る54.8と2ヵ月ぶりの低下となった。新規受注と雇用が減速したことが押し下げ要因となった。関連指数では、景況指数が57.7(前回60.3)、新規受注が57.7(60.0)、雇用が53.1(57.2)と前回の結果から低下、ただ仕入価格は56.6(54.0)と8月以来の高水準となった。

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米耐久財受注(前月比) -0.3% (予想 -0.1%・前回 -0.1%)

9月米耐久財受注[除輸送用機器] 0.1% (予想 0.1%・前回 0.2%)

9月米製造業受注指数(前月比) 0.3% (予想 0.2%・前回 0.4%)
 前回発表の0.2%から0.4%に修正

指標結果データ

◀ 製造業新規受注指数 ▶

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
新規受注	0.3	0.4	1.4	-1.8	-1.2	1.8
輸送機器を除く	0.6	0.3	-0.1	0.4	0.2	0.3
資本財	-0.1	-0.1	10.7	-12.4	-6.0	7.5
耐久財	-0.3	0.2	3.6	-4.3	-2.9	3.2
輸送機器	-1.1	0.6	8.9	-11.5	-7.1	8.5
受注残	-0.4	-0.2	-0.2	-0.9	0.0	0.6

9月の米製造業受注は、前月比+0.3%の4554億7100万ドルとなり、3ヵ月連続でプラスとなった。変動の激しい輸送機器を除いた受注は+0.6%。油田やガス田関連の機械や民間航空機、自動車の増加率が拡大したことが押し上げ要因となった。

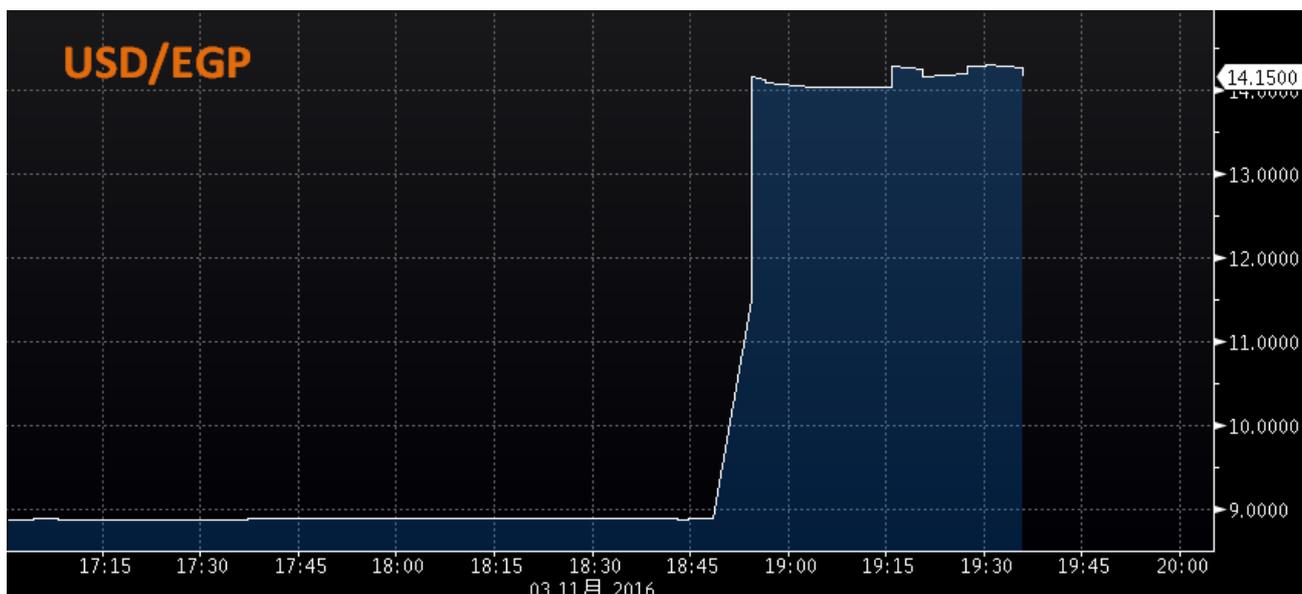
- ①耐久財は前月比-0.3%、輸送機器が-1.1%となり、民間航空機が+12.1%で前月の大幅な落ち込みから回復、国防航空機は-47.6%と前月までの大きな伸びから一転して大幅な落ち込みとなった。また、自動車・同部品は+2.6%で2ヵ月連続のプラスとなった。その他では電機・家電が+0.9%、一般機械が+1.1%、一次金属は-0.3%、電算機・電子製品は-0.9%だった。非耐久財は+0.9%。
- ②資本財は-0.1%となり、国防関連を除く資本財が+1.3%、民間設備投資の先行指標となるコア資本財は-1.3%、国防資本財は-7.6%。
- ③製造業全体の出荷は+0.8%、受注残高は-0.4%、在庫は横ばいだった。在庫は出荷の1.34ヵ月分に相当し、改定された前月から0.01ヵ月分の減少となった。

＜欧州のポイント＞

- ①EU統計局が発表した9月のユーロ圏失業率は、市場予想と一致の10.0%となり、前月から横ばいとなった。ベルギー、アイルランド、フランスなど多くの国で低下。ドイツは前月から横ばいの4.1%と、ユーロ圏では最も低かった。一方、オーストリア、イタリア、ルクセンブルクでは上昇した。9月は若年層の失業率が20.3%と、前月の20.6%から低下。特にスペインとイタリアで低下した。
- ②ECBが公表した経済報告書で、ユーロ圏経済は緩やかで安定的なペースで拡大を続けると見られるものの、主に世界的な成長鈍化と政治的な先行き不透明性により、見直しには下方リスクが伴っているとの認識を示した。また、消費と雇用の伸びは継続し、企業投資の改善は来四半期に入っても続く予想。世界的な貿易は引き続き軟調としながらも、下方トレンドは底入れした可能性があるとの見方も示した。
- ③英中銀の金融政策決定会合で、政策金利を0.25%に、資産買入れプログラムの規模を4350億ポンドに据え置くことを全会一致で決定した。2017年の経済成長率見通しを8月予想の+0.8%から+1.4%に、1年後のインフレ率予想を2.0%から2.7%に引き上げた。声明で「インフレ率2%目標への持続可能な回帰を確実にするため、景気見通しの変化に対し、金融政策はいずれの方向にも反応できる」との認識を示した。

＜海外の話題＞

中東通信によると、エジプト中銀は、通貨エジプト・ポンドの対ドル為替相場を変動相場制に移行すると発表した。1ドル=13.5エジプト・ポンドで取引され、前日までの1ドル=8.88エジプト・ポンドから約50%の切り下げとなった。政情不安が続いたエジプトは外貨不足に苦しんでおり、IMFと3年間で120億ドル（約1兆2400億円）の融資で基本合意。融資実行の条件として為替相場の柔軟化を求められていた。政府は今後、燃料への補助金削減も実施する見通し。



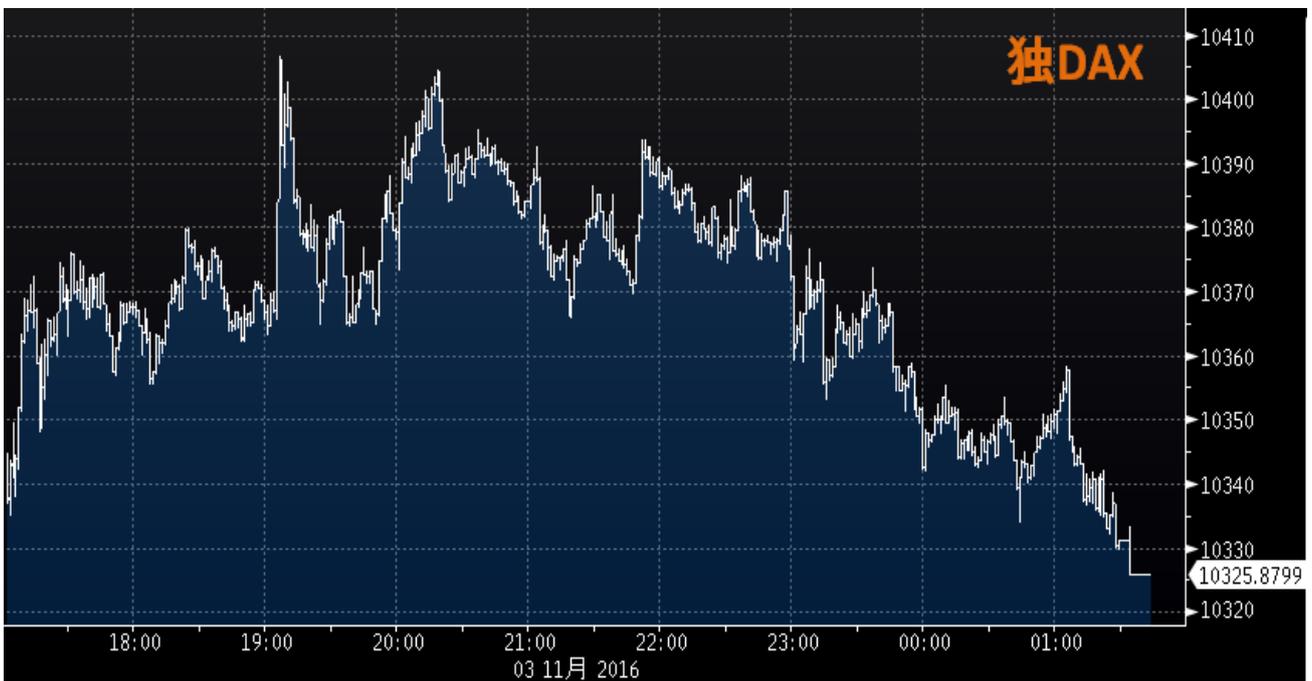
出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

＜欧州株式市場＞

欧州株式市場は、続落となった。英 FT100 指数は、英ポンドが対主要通貨で上昇し、輸出企業の収益悪化懸念が広がったことが影響した。一方、独 DAX 指数、仏 CAC40 指数は終盤にマイナス圏に下落し、続落となった。

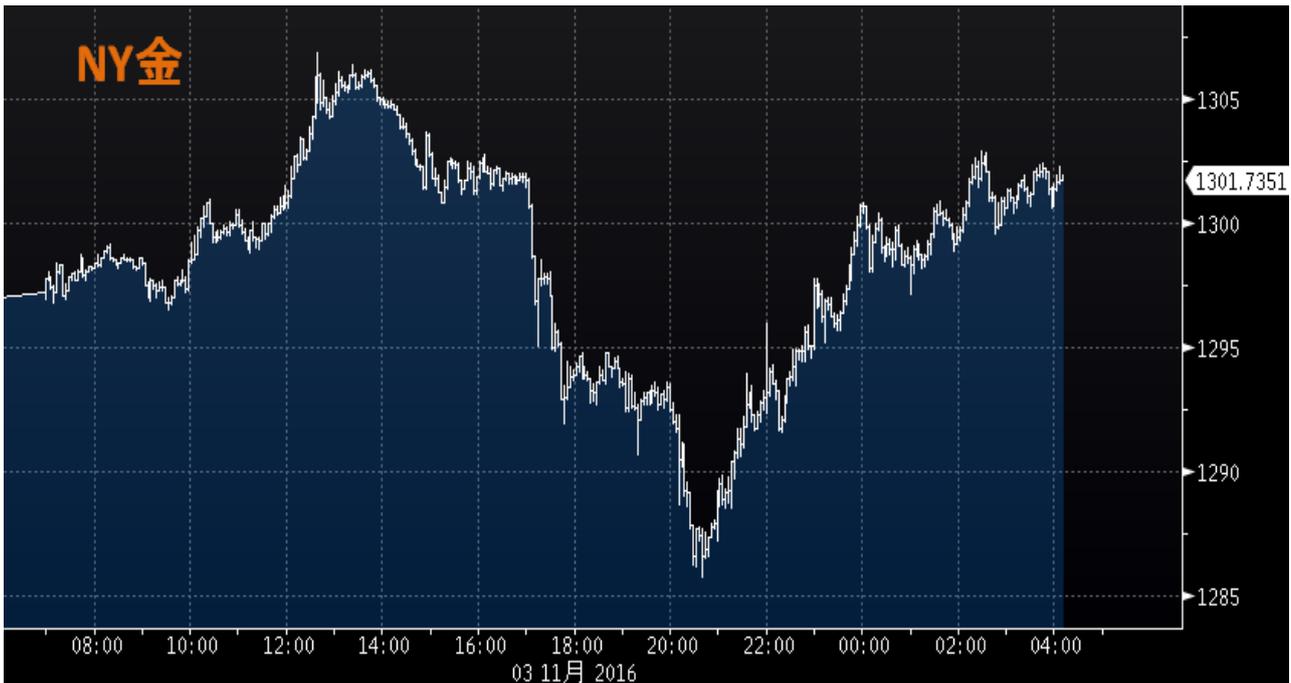


出所：Bloomberg

＜ NY 金市場 ＞

NY 金は、中心限月が前日比 4.90 ドル安の 1 オンス = 1303.30 ドルで取引を終了した。

NY 金は、前日までの大幅上昇の反動で、一旦利益を確定させる売りが優勢となった。ただ、米大統領選の先行き不透明感を背景とした逃避買いも出ており、下げ幅は限定的となった。

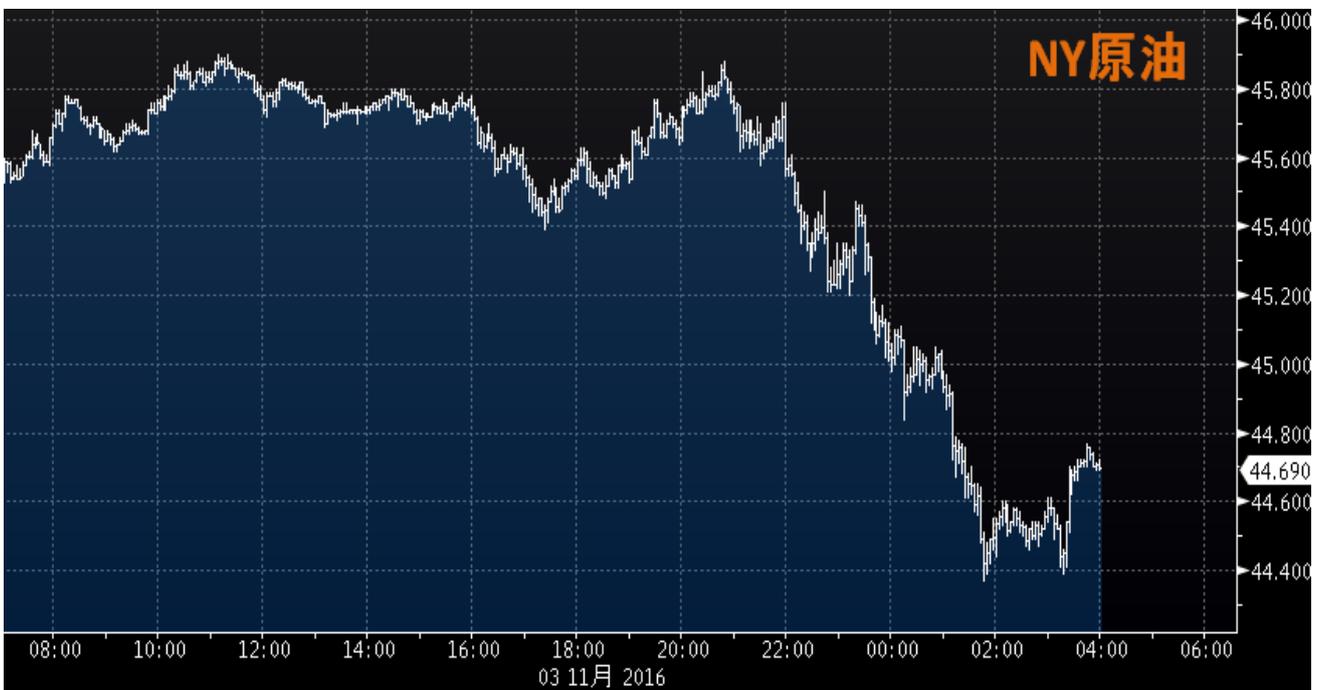


出所：Bloomberg

＜ NY 原油市場 ＞

NY 原油は、中心限月が前日比 0.68 ドル安の 1 バレル=44.66 ドルで取引を終了した。

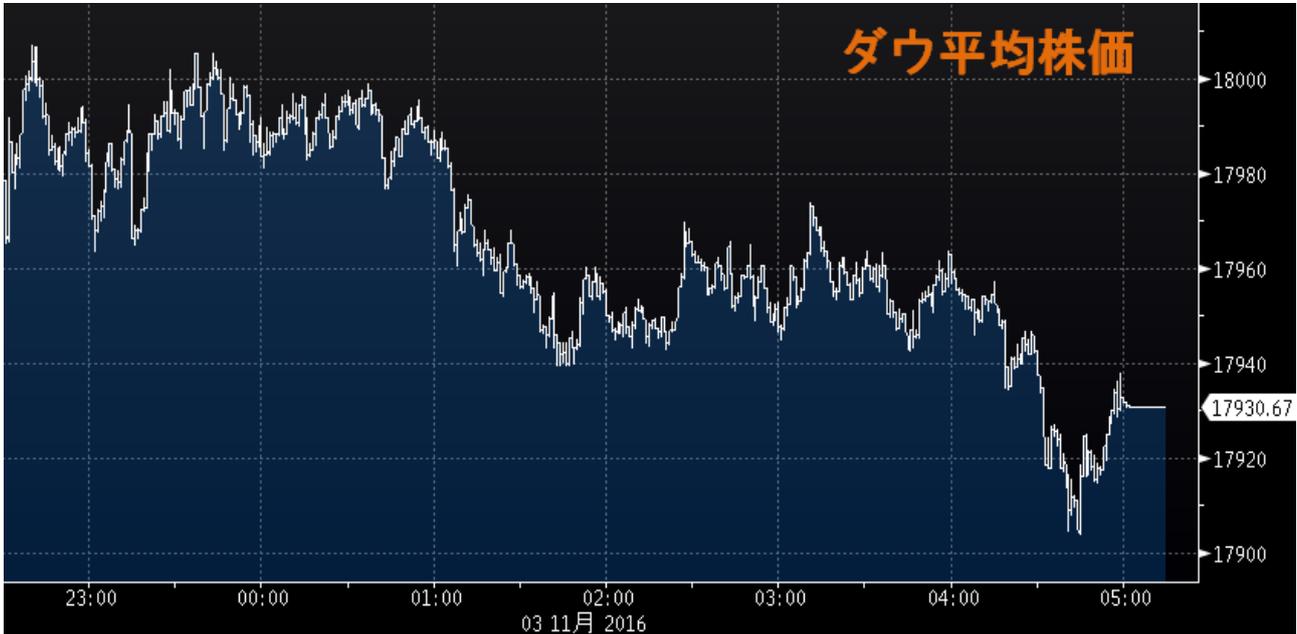
NY 原油は、前日発表された米原油在庫の大幅増加が引き続き材料視され、売りが優勢となった。また、OPEC による減産実行に対する懐疑的な見方も圧迫要因となり、終値ベースで 9 月 23 日以来約 1 ヶ月半ぶりの安値となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、前日までの株価下落を受けて、買い戻しの動きが先行し、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。しかし、米大統領選を巡る先行き不安も根強く、上値の重い動きとなり、また原油価格の下落も加わり、主要株価はマイナス圏まで下落した。ダウ平均株価は、序盤は47ドル高まで上昇したものの、その後は下落に転じ、終盤には55ドル安まで下落した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が予想を下回る結果が続いたことや、米大統領選の先行き不透明感を背景に、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。その後は、原油や株価下落を背景に、円を買う動きも見られた。ただ、米雇用統計などを控えて値動きは限定的となった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。